

部 局 経 営 方 針

平成24年度

薩摩川内市

部局名	総務部工事検査監	部局長名	落合 正浩
------------	----------	-------------	-------

部局内の 経営資源	当初予算	0.3億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		12人	0人	12人

①部局の使命 (組織の存在価値)	透明性・競争性・公平性・客観性の確保を基本とし、談合のできない入札制度、ダンピング受注の防止、工事品質の確保、行政効率の向上及び地元優良業者の育成に努める。	②組織目標像	【施策の目標像】 (1) 公平公正で透明性及び競争性が高く、工事品質の確保と不良業者が排除される入札契約システムが運営されている。 (2) 高い品質管理がなされ、安全で安心な公共施設を供用するため、厳正な工事成績評価システムが運営されている。 【組織の目標像】 安全で品質の高い公共施設を提供するため、市民及び請負者と一体となって、速やかに課題解決ができる入札契約・工事管理能力のある職員・組織となっている。
-----------------------------	--	---------------	--

平成24年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

③重点事項	④具体的な成果目標 (めざそう値)	⑤具体的な取組内容	⑥進捗状況 (年度中間)	⑧年度末の達成状況
入札・契約に係る透明性の向上	(1) 入札適正化法に基づく契約内容等に係る公表	① 公表事項の拡大に向けた検討	○	○ ① 総合評価落札方式の入札結果公表をHPでも閲覧可能とした。
入札・契約事務の効率化	(1) 入札・契約事務の簡素化 (2) 契約グループ職員のスキルアップ	① 入札・契約Q&Aの作成 ② 時代に即した入札・契約事務の情報収集と本市の現状分析	○ ○	○ ① 事業者向けQ&AをHPに掲載した。職員向けQ&Aを会計課と共同作成した。 ○ ② 入札制度の検証を行い一部書類の簡素化を行った。
公共調達の商品管理・施工管理の向上	(1) 受注者との連携による商品品質と施工管理の向上	【受注者と監督員との連携強化による商品品質・施工管理の充実】 ① 受注者と監督員との連携強化	○	○ ① 商品品質・施工管理の充実を図るため、監督員会議(1回)、関係課長会議(4回)、工事等技

部 局 経 営 方 針

平成24年度

薩摩川内市

		<p>(ワンデーレスポンスの実践)</p> <p>② 出前講座の開催 (受注者、契約検査課)</p> <p>③ ワーキングの開催 (監督職員、契約検査課) 建築、電気・設備、上水道の実施</p> <p>④ 設計審査、検査の振り返り (情報の共有)</p> <p>⑤ 工事成績評定運用マニュアルの見直し(評価についての考え方の整理)</p>	<p>術調整会議(2回)を開催した</p> <p>○ ② 受注者との協議は、必要に応じ、行った。</p> <p>○ ③ 成績・所見を取りまとめ、それらを基にワーキングを3回実施した。</p> <p>○ ④ 工事等技術調整会議等において、検査等に係る論点等を整理し、関係課に周知した。</p> <p>○ ⑤ 創意工夫の考え方・実施内容等を記載する様式を定めて周知し、その他評価項目の考え方の整理を実施した。</p>	<p>術調整会議(4回)を開催した。</p> <p>○ ② 受注者と意見交換会を実施した。</p> <p>○ ③ 成績・所見等を取りまとめ、それらを基にワーキングを6回開催した。</p> <p>○ ④ 工事等技術調整会議を利用し関係課に検査の振り返り等を周知し、関係各課で情報共有できるようにした。</p> <p>○ ⑤ 評価項目について検査員で情報を共有し考え方の統一を図った。</p>
<p>⑦年度中間総括</p>	<p>入札契約手続きの透明性の向上及び効率化、施工管理の向上を図るため、事務事業の検討を行った。 各課の技術職員との情報共有を図るためにワーキング等の会議を随時開催し、また技術力向上のため研修も随時開催している。 工事成績評定関係では、創意工夫の考え方を整理し、業者にも周知を図ったところである。 今後も目標達成に向け、積極的に取り組んでいく。</p>			
<p>⑨年度末総括</p>	<p>入札・契約に係る透明性の向上を図るため、総合評価落札方式の入札結果をHPで閲覧可能とした。 入札契約制度の情報分析を行い、入札契約制度を一部見直すこととした。 見直し項目は次のとおり (1) 施工体制調査基準額の引き上げ(平成25年4月1日以降の入札公告分から適用) (2) 工事品質評価型入札における成績条件設定の見直し(平成25年7月1日以降の入札公告分から適用) また、一部見直しに伴い、入札契約制度を整理してHPに掲載するとともに、事業者向けQ&AもHPに掲載した。 業者との意見交換会を行うとともに、情報共有を図るため建設関係各課との協議を行った。</p> <p>年間を総括し、目標は概ね達成できた。 来年度も、入札契約事務の適正化と工事品質確保に向け、積極的に取り組んでいく。</p>			